

第 40 回 桜の花咲くふるさと（広報まつざき 令和 7 年 4 月号掲載）

伊豆半島では、1 月から桜の花が見られます。土肥桜、熱海桜、河津桜といった早咲きの桜から、松崎町の染井吉野まで 4 月上旬まで春を目で見ることができます。日本では、ヤマザクラ、オオヤマザクラ、カスミザクラ、オオシマザクラ、エドヒガン、チョウジザクラ、マメザクラ、タカネザクラ、ミヤマザクラ、クマノザクラの 10 種を基本にして、変種を合わせると 100 種以上の桜が自生しており、沖縄には野生化したカンヒザクラがあります。また、これらから育成された園芸品種は 200 以上もあり、一重咲きや華やかな八重咲き、枝垂れ咲きなど、品種によって多様な咲き姿や色合いを楽しむことができます。

その中でも自分にとっての桜は、小さい頃から慣れ親しんできた染井吉野です。薄いピンク色が心癒やしてくれます。また、花が散ってから葉が出るため、満開の桜の木は目を見張るものがあります。開花期間が短いのが残念ですが、ある意味、その散り様には潔さを感じられる花です。また、武士道や大和魂といった日本人の精神文化も思わせてくれます。植樹してくださった先人たちに感謝しながら、愛でたいと思います。